

中間試験

2018.11.16. 佐藤

* 中間試験の目的

1. 講義理解度の自己点検
2. 論述試験の回答（レポート・論文も同様）の書き方練習
3. 成績評価は、毎回講義での試験を重視するが、中間試験・最終試験も加味する。

以下の①、②の新聞記事の中から一つを選び、次の点につき答えなさい。

1. 記事において問題となっている労働法上の論点
2. その論点の前提となる法の説明
3. その論点に関する諸説
4. その論点に関する自らの見解

注意：1. 選択した記事番号を明記すること。

2. 設問 1 から 4 のいずれに解答しているのか明記すること。

3. 採点基準（50 点満点で採点する）

a) 設問の 1. から 4. の項目毎に、基本的には○△Xの三段階評価を行う。

b) 必要なことが述べられていれば○で10点、不十分ならば△で5点、関係するところが何も述べられていなくXで0点。

c) さらに、独創的な考えがみられた場合には、10 点の範囲で追加点をつける。

① 図書販売業

朝日新聞 2009 年 04 月 26 日付より作成

東京都内に一人で暮らす 50 代の女性は、図書館などに書籍を納める会社でフルタイムの契約社員として働く。勤続 10 年以上で、本の分類など正社員とほぼ同じ仕事をこなす。しかし、ボーナスも昇給もほとんどなく、手取りは月 16 万円台。正社員より 3~4 割低い。「同じ仕事をしている正社員の待遇に近づけてほしい」。女性は会社に時給アップを求めたが、会社は「あなたは正社員ほど責任が重くない」として拒んだ。

② 労働相談

朝日新聞 2014 年 06 月 09 日付より作成

『今夜中に資料をまとめてくれ』など急な残業を命じられることがしばしばです。急ぐ必要がある仕事ばかりとは限らず、用事があって都合が悪い日もあります。会社員は上司の命令に従わないといけないのでしょうか。新入社員から、こんな相談がありました。